

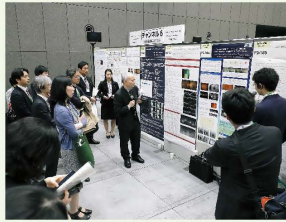
Kyorin Eye Center Newsletter

vol. 57
Summer
2019

〒181-8611 東京都三鷹市新川6-20-2 杏林アイセンター Tel: 0422-47-5511 (ext. 2606) Fax: 0422-46-9309



会長幹シンプジウム
「デジタル支援の眼科手術」にて
8K-3D 映像システムの 3D 眼鏡を
着用している聴衆



ポスター会場にて質疑応答



シンプジウム「眼炎症研究の最前線」にて
座長の岡田教授と高瀬講師(医科歯科大)



閉会式にて Cogan 杯の授与
左から平形明人会長、大鹿哲郎
日眼理事長



会長招宴にて海外招待演者らと



会長招宴にて上段左から松田杏林学園副理事長夫妻、
山下前日眼理事長、渡邊杏林学園医学部長、相原東大教授、
下段左から松田杏林学園理事長、白根日本眼科医会会長、
福下東京都眼科医会会長



学会を無事終えた
平形明人会長と厚東隆志事務局長

イベント情報

<第 13 回 診療眼科研究会>

気賀沢一輝先生(非常勤講師)主催

2018 年 7 月 13 日(土) 15:30 ~ 19:00 場所: 杏林大学 大学院講堂

教育講演: 篠田 啓 先生(埼玉医科大学眼科 教授)

特別講演: 渡邊 衡一郎 先生(杏林大学医学部精神神経科学教室 教授)

<第 15 回 Eye Care Strategy Seminar>

2019 年 8 月 24 日(土) 17:00 ~ 19:00 場所: ヒルトン東京 4 階 菊の間

第 1 テーマ: 「緑内障に関する最近の話題: QOL, OCTA, PPG」 福地 健郎 先生(新潟大学医学部眼科学分野 教授)

第 2 テーマ: 「神経眼科の視野異常」 木村 亜紀子 先生(兵庫医科大学眼科教室 准教授)

<第 62 回 東京多摩地区眼科集談会>

2019 年 10 月 19 日(土) 14:30 ~ 16:30 場所: 杏林大学 大学院講堂

特別講演: 「角膜疾患(仮題)」 山田 昌和 先生(杏林大学医学部眼科学教室 教授)

<第 22 回 西東京眼科フォーラム>

2019 年 11 月 13 日(水) 19:00 ~ 21:00 場所: 吉祥寺第一ホテル 8F 飛鳥の間

特別講演: 「学童近視から病的近視まで: 近視治療のトータルマネジメント」

大野 京子 先生(東京医科歯科大学眼科学教室 教授)

編集部からのコメント

皆様のご支援により、平成時代最後の日眼総会主管を無事に終了できました。ちょうど杏林医学部 50 年、アイセンター 20 周年を迎えた年でした。ありがとうございました。また、アイセンターに頼もしい人材がたくさん入局しました。どうぞよろしくお願いします。(AH)

アイセンター新入医局員の紹介(慶野 博)



上段左から福本隆基、成田文洋、角田麻理、林勇海
下段左から大岩未来、慶野博、岡野香那

医師の大学病院離れと医師数の地域格差の問題が叫ばれて久しいですが、この問題と関連して日本専門医機構によって導入された「新専門医制度」が現在、大学付属病院の新入医局員数、特に都市部において極めて大きな影響を与えています。この経緯について簡単に説明しますと、これまで新入医局員の定数についてはある程度、各大学医局の裁量に任されていましたが、日本専門医機構により平成 30 年度から東京、神奈川、愛知、大阪、福岡の 5 都府県において、後期研修医(現在は専攻医という名称になりました)の入局者数が制限され(一部の診療科を除く)、上記 5 都府県の大学付属病院を含めた基幹施設が受け入れできる人数に上限が設定されました。これによって都内の大学病院で後期研修を希望していたにも関わらず、受け入れ人数の制限により別の地域に変更した、また希望する科を変更したといった声も聞きます。

このような専門医制度の大変革の時代に今年度は 5 名の専攻医(大岩未来先生、角田麻理先生、岡野香那先生、成田文洋先生、福本隆基先生)が杏林アイセンターに入局し、これにより現在 1 年目から 3 年目までの専攻医数は合計で 13 名と 5 年前では考えられないほどの規模となりました。さらに慶応義塾大学眼科学教室からは林勇海先生が眼炎症・神経眼科フェローとしてアイセンターのメンバーに加わりました。我々指導スタッフもバランスのとれた眼科臨床医育成のため杏林アイセンターの特色を生かした教育システムのさらなる充実を目指していききたいと思います。これからの杏林アイセンターを担う各先生方の成長を願うとともに今後の大いなる活躍を期待しています



大岩 未来

今年度から杏林アイセンターに入局させていただきました、大岩未来と申します。三重県出身で大学も初期研修も三重県内で過ごしてきました。杏林アイセンターは幅広い症例数を経験できるだけでなく、教育体制もとても充実しており、眼科医として成長するには最適の場であると感じました。働き始めてから1ヶ月が経ち、先輩に診察や手術の手順などを教えていただきながら充実した日々を過ごしております。まだまだ至らない点が多く、ご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、どうぞご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



岡野 香那

今年度より杏林大学病院眼科学教室に入局させて頂きました、岡野香那と申します。聖マリアンナ医科大学出身ですが、ご縁があり学生や初期研修の時にウェットラボや病院見学で杏林アイセンターを体感させて頂く機会がありました。その中で、杏林アイセンターには多くの専門外来があり幅広い疾患について学ぶことが出来ると考え、入局させて頂きました。また、ウェットラボやクルズス、カンファレンスなど教育面も充実しており、恵まれた環境であることを日々実感しております。来年度は亀田総合病院で研修させて頂く予定です。ご迷惑をおかけするかとは思いますが、学ぶ姿勢を持ち日々励んで参りたいと思いますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



角田 麻理

今年度の4月より入局させていただきました、角田麻理と申します。出身大学は日本大学で、初期研修より杏林大学病院にて研修させて頂いております。初期研修の1年時に眼科をローテートさせていただいた際、眼科学の専門性の高さ、医局の先生方の教育姿勢とそれぞれの専門に対する熱意、手術の美しさに魅了され、眼科学に興味を持つようになりました。そして、当院のアイセンターでは多くの症例を高い専門性を持って学ぶことが出来ると考え、入局させていただきました。このような恵まれた環境で学べることに感謝し日々精進していく所存でありますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



成田 文洋

今年度の4月より杏林大学眼科学教室に入局致しました、成田文洋と申します。初期研修中に見学に伴い、アイセンターで熱心に働き患者と向き合う先生達の姿を見て是非この施設で働いてみたいと思い入局させていただきました。実際に働く目前に幅広い分野の豊富な症例があり、日々勉強をさせていただいています。1例1例真摯に向き合っていきたいと思っております。色々ご迷惑をおかけすると思いますが、一生懸命頑張りますので今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



福本 隆基

今年度4月より入局致しました福本隆基と申します。生まれも育ちも熊本で熊本大学出身です。東京・杏林大学は縁もゆかりも有りませんが、杏林アイセンターに見学に来た時に先生方の診療に対する姿勢、充実した設備に感銘を受け入局を決めました。各分野にスペシャリストの先生が在籍しており、眼科医として重要な最初の数年をそういう環境で学べることはとても恵まれたことだと思います。まずは眼科ジェネラリストとして、そしていつか網膜硝子体分野に進みたいと考えております。まだまだ未熟者ですが先生方のお力添えと同期と切磋琢磨し成長していきたいと思っております。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。



林 勇海

林 勇海(いさみ)と申します。出身は慶應義塾大学、部活は軟式テニス部です。2年間の前期研修を済生会中央病院で行い、慶應大学にて3年間の眼科後期研修を行いました。本年4月より眼炎症・神経眼科のフェローとして杏林で勉強させていただきますこととなりました。杏林でのフェローにおける目標は「大局観」を磨くことです。これは私の趣味である囲碁で使われる言葉で、物事の全体的な状況や成り行きに対する見方や判断をさします。自分の目指す専門分野では全身疾患と関連する病態も多く、他科連携が特に重要な分野といえますが、眼の正確な所見を取り適切な診断・治療を考察することは勿論のこと、その患者さんの全身で生じている病態を把握するなど、「大局観」をもって診療に当たれるよう努力していきたいと存じます。未熟者ですが今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

第123回日本眼科学会総会フォトアルバム

平成31年4月18日～21日、東京国際フォーラムにて第123回日本眼科学会総会を無事開催することができました。参加人数は歴代2番目となる7,646人を記録し、盛況裏に閉幕いたしました。同門会員、関連病院のみならずはご寄付を、また近隣の医療機関のみならずは学会期間中に紹介を控えていただくなど、多大なご支援ご協力を賜り本当にありがとうございました。みなさまのご協力があったからこそこの学会であったと心より感謝申し上げます。今回は紙面に限られており一部の写真しかお見せできませんが、医局員による詳細な学会レポートを現在準備中の20周年記念誌に掲載する予定でありますので、そちらをご期待いただければと存じます。



開会式
左から村田敏規プログラム委員長、平形明人会長、福下公子副会長



招待講演
左から演者 Dr.Mark Humayun、座長 平形教授、座長 Dr. Young Hee



会長枠シンポジウム
「AIとビッグデータがもたらす眼科医療の将来」